

北海道

道内公的医療機関・道内保健所等

連絡先：〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17 永田町
 ほかいどうスクエア1階
 北海道東京事務所行政課（医師確保）
 TEL 03-3581-3425 FAX 03-3581-3695
 E-mail tokyo.somu1@pref.hokkaido.lg.jp

特記事項：北海道で勤務する医師を募集しています。
 北海道では、北海道で勤務することを希望する道外医師の方々をサポートするため、北海道東京事務所に道外医師の招聘を専門とする職員を配置しています。
 ○北海道の公的医療機関や保健所で働きたい！
 ○北海道の医療機関を視察・体験したい！
 ○まずは北海道の公的医療機関等の求人情報を知りたい！など北海道で医師として働くことに関心をお持ちの方は、北海道東京事務所の職員（北海道職員）が医師の皆様の御希望を踏まえながら丁寧にサポートいたします。まずはお気軽にお問い合わせください。
 皆様が目指す医療・暮らし方がきっと「北海道」にあります。
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/tkj/ishibosyu.html>

北海道 医師募集



☆北海道勤務をお考えの医師の方は、どうぞご連絡ください
 公的医療機関等への勤務に向け、サポートします
 ☆医師移住冊子「Mateni ドクター×北海道移住」無料配付中！

～連絡先～ 北海道東京事務所（担当：中村）
 TEL 03-3581-3425（直通）
 E-mail tokyo.somu1@pref.hokkaido.lg.jp



受付 2022.7.6

北海道立緑ヶ丘病院

●精神科 1名

診療科目：精神科，児童・思春期精神科
 病床数：168床（稼働病床77床）
 職員数：105名（うち常勤医師6名）
 所在地：〒080-0334 音更町緑が丘1
 連絡先：北海道立病院局総務課人材確保対策室 主幹 久米
 TEL 011-204-5233 FAX 011-232-4109
 E-mail hohuku.byokan1@pref.hokkaido.lg.jp

特記事項：道立緑ヶ丘病院がある音更町は、北海道遺産の「モール温泉」十勝川温泉があり、とち帯広空港から約1時間の距離にあります。
 当院は、十勝第三次医療圏における精神科救急・急性期医療の中心的役割を担うとともに、「児童・思春期精神科医療」の専門外来・病床を有しています。
 地域の精神医療に興味がある方からのご連絡をお待ちしています。
 病院視察の交通費は北海道で負担しますので、興味ある方はぜひご連絡ください。

受付 2022.6.16



北海道立羽幌病院

●総合診療科 1名

診療科目：内科，外科，小児科，整形外科，耳鼻咽喉科，眼科，産婦人科，皮膚科，泌尿器科，精神科，リハビリテーション科
 病床数：91床
 職員数：72名（うち常勤医師8名）
 所在地：〒078-4197 羽幌町栄町110
 連絡先：北海道立病院局総務課人材確保対策室 主幹 久米
 TEL 011-204-5233 FAX 011-232-4109
 E-mail hohuku.byokan1@pref.hokkaido.lg.jp

特記事項：道立羽幌病院は、北海道北西部にある留萌管内のほぼ中央に位置し、天売島・焼尻島を有する羽幌町に所在します。
 当院は羽幌町ほか周辺町村の医療を担い、総合診療や家庭医療の専門研修プログラムによる専攻医や医学生実習等を受け入れるなど人材育成にも取り組んでいます。
 地域医療に情熱のある常勤医師を募集しています。
 視察の交通費は北海道で負担しますので、興味ある方の連絡をお待ちしております。（院長・副院長は自治医大卒です。）

受付 2022.6.16



※北海道立病院 病院視察・勤務体験

北海道立病院での勤務を考えている方、興味のある方は気軽にご連絡ください。

費用：北海道が負担します
 対象：北海道内外の①医師または医学生、②薬剤師または薬学生
 対象病院：募集状況に応じて5つの道立病院と調整

お問い合わせ先
 北海道立病院局 総務課 人材確保対策室 熊谷
 TEL 011-231-4111（内線25-853）
 E-mail hohuku.byokan1@pref.hokkaido.lg.jp

右のQRコード（北海道立病院局ホームページ）をご参照ください。



青森県

深浦町国民健康保険深浦診療所

●総合診療医 1名

診療科目：内科，外科

病床数：無床

職員数：19名（うち常勤医師3名，非常勤医師1名）

所在地：〒038-2321 青森県西津軽郡深浦町大字戸字家野上104-3

連絡先：事務長 竹内

TEL 0173-82-0337 FAX 0173-82-0340

E-mail jin_takeuchi@town.fukaura.lg.jp

特記事項：深浦町は，青森県の西南部に位置し南北78kmに渡る海岸線に沿って西は日本海に面し，東には世界自然遺産に登録されている『白神山地』に連なっています。

当診療所は，平成30年6月に町の中心部に新設された町内唯一の診療所です。プライマリ・ケア中心の医療を目指していますが，外来診療のほか特養の指定医や学校医等も行ってまいります。

地域医療に意欲的な方をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。

<https://www.town.fukaura.lg.jp>

受付 2025.8.28



山梨県

都留市立病院

●整形外科，総合診療科，内科，脳神経内科，リハビリテーション科 若干名(常勤，非常勤は応相談)

診療科目：内科，外科，呼吸器外科，整形外科，脳神経外科，消化器外科，形成外科，小児科，産婦人科，眼科，耳鼻咽喉科，皮膚科，泌尿器科，リハビリテーション科

病床数：137床（一般127床，地域包括ケア10床）

職員数：199名（うち常勤医師15名）

所在地：〒402-0056 山梨県都留市つる5丁目1-55

連絡先：事務局長 清水

TEL 0554-45-1811 FAX 0554-45-2467

E-mail soumukikaku@city.tsuru.lg.jp

特記事項：当院は，リニア実験線見学センターのある都留市に位置し，山間地域において二次救急までの地域医療を担っております。当市には診療所が極端に少ないことから，日々大勢の外来患者が来院し，急激な高齢化を背景に回復期や慢性期の患者も増えてきております。近年は「身近で小規模多機能な病院」を掲げて回復期やリハビリテーション，在宅医療も担える体制も整えてきているところですが，在宅診療を担う総合診療科や整形外科，脳神経内科，リハビリテーション科の医師不足に直面しており，地域住民に十分な医療が提供できない状況にあります。地域医療を共に支えてくださる医師の方，ぜひ，お気軽にお問い合わせください。

<https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/byoin/>

受付 2025.1.14



宮城県

涌谷町国民健康保険病院

●内科(総合診療科，消化器内科) 2名

診療科目：内科(総合診療科)，整形外科，眼科，泌尿器科，皮膚科，神経内科，耳鼻咽喉科

病床数：99床（一般病床60床，療養病棟39床）

職員数：161名（うち常勤医師7名）

所在地：〒987-0121 宮城県遠田郡涌谷町涌谷字中江南278

連絡先：涌谷町町民医療福祉センター総務管理課 課長補佐 戸澤

TEL 0229-25-3118 FAX 0229-43-5715

E-mail gr-kanri@town.wakuya.miyagi.jp

特記事項：在宅医療に熱意ある医師，消化管内視鏡検査を特技とする医師を募集中です。

医療福祉センター全体では故山口昇先生のご指導のもと，地域包括ケアは保健医療福祉を一体化して進めてきました。介護予防には大きな成果が出ています。また，町内福祉施設では要介護度の軽症化の実績をあげてきました。2024年4月からは子育て支援課を含め，また包括ケアの特徴を生かして，重層的支援事業にも取り組んでいます。

前次政次事業管理者兼院長が27年ぶりに当院に復帰し，病棟は2023年4月からダウンサイジングし，現在は一般病室34ベッド，地域包括ケア病室26ベッド，療養病棟39ベッドで運営し，収支が大幅に改善しています。

学生に対する地域医療介護実習(6週間など)，研修医に対する地域医療研修(1～2ヵ月)，総合診療専攻医に対する研修(6ヵ月)にも力を入れています。わくや総合診療専門医養成プログラムも開始しています。

<https://www.town.wakuya.miyagi.jp/kenko/kenko/hospital/index.html>

受付 2025.1.17



神奈川県

独立行政法人地域医療機能推進機構
湯河原病院



●内科 常勤医師（部長職）1名

診療科目：整形外科，リウマチ科，形成外科，リハビリテーション科
内科，脳神経外科，麻酔科，消化器外科，婦人科

病床数：150床

職員数：182名（うち常勤医師15名）

所在地：〒259-0396 神奈川県足柄下郡湯河原町中央2-21-6

連絡先：総務企画課 採用担当 内山・富樫

TEL 0465-63-2211 FAX 0465-62-3704

E-mail main@yugawara.jcho.go.jp

特記事項：神奈川県西部の気候温暖な小田原と熱海の間に位置する湯河原町で唯一の公的医療機関として主に東大整形外科医局の関連病院として薬物治療，外科的治療，リハビリテーションから装具の治療までを総合的な整形外科診療を中心とした医療を提供している。

整形外科では膝・股関節の変形性関節症に対する多くの手術を施行し，リウマチ科においては，関節リウマチをはじめ膠原病などを専門に治療し，最新治療の生物学的製剤を使用した薬物療法を施行していることなどから，近隣の医療機関からの紹介だけでなく，遠方からの患者も少なくない。

<https://yugawara.jcho.go.jp/>

受付 2024.5.16

兵庫県

公立豊岡病院組合立豊岡病院
出石医療センター



●総合診療科 幹部 1名・一般医師
若干名

診療科目：内科，外科，整形外科，皮膚科，リハビリテーション科，放射線科

病床数：55床（一般31床，地域包括ケア24床）

職員数：79名（うち常勤医師3名，非常勤医師2名）

所在地：〒668-0263 兵庫県豊岡市出石町福住1300

連絡先：事務長 田口

TEL 0796-52-2555 FAX 0796-52-3811

E-mail kanri.izushi@toyookahp-kumiai.or.jp

特記事項：当医療センターは，豊岡市出石町・但東町を主な診療圏域（対象人口約13,000人）としています。主にプライマリ・ケアを提供する病院として急性・慢性疾患の診察・時間外対応，市民健診の二次健診，人間ドック，福祉施設の嘱託医・企業の嘱託産業医活動，豊岡市出石町地域の在宅訪問診療など，地域に密着した医療を展開しています。地域医療にご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

<https://www.toyookahp-kumiai.or.jp/izushi/>



受付 2024.9.17

大阪府

地方独立行政法人大阪府立病院
機構 大阪精神医療センター



●総合診療医 4名（常勤・非常勤を
問わず，応援医師でも応相談）

診療科目：精神科，児童思春期精神科，総合診療科（院内標榜）

病床数：473床

職員数：45名（うち常勤医師28名，非常勤医師17名）

所在地：〒573-0022 大阪府枚方市宮之阪3-16-21

連絡先：事務局人事グループサブリーダー 徳重

TEL 072-847-3261 FAX 072-840-6206

E-mail tokushiges@opho.jp

特記事項：大阪精神医療センターは総合診療医・総合内科医を募集します。当センターは，90年以上の歴史を有する大阪府の公的精神科病院です。地域の医療機関と連携を図り精神医学の高度な専門技術を提供し，日本の精神医療をリードしてきました。この度，認知症の増加や利用者の高齢化に対応するために「認知症・合併症診療部」を開設し，そこで活躍していただける総合診療医を求めています。ご関心のある方はぜひご連絡下さい。

<https://pmc.opho.jp/index.html>

受付 2023.8.9

和歌山県

公益財団法人白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院



- 一般内科または総合診療科・
消化器内科・乳腺外科 各1名

診療科目：内科，外科，整形外科，リウマチ科，小児科，脳神経内科，
リハビリテーション科，婦人科，泌尿器科，乳腺外科，皮膚科，
眼科，耳鼻咽喉科，脳神経外科，呼吸器科，循環器科，
消化器科，麻酔科，心療内科(休診中)，アレルギー科(休診中)

病床数：258床

職員数：390名（うち常勤医師18名，非常勤医師32名）

所在地：〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447

連絡先：事務部 参事 布袋

TEL 0739-43-6200 FAX 0739-43-7891

E-mail j_hotei@hamayu-hp.or.jp

特記事項：当院は和歌山県の南，南紀白浜に建つ公益財団法人のケアミックス総合病院です。風光明媚な白浜・円月島などの観光名所，温泉，世界遺産の熊野古道もあります。羽田から70分の白浜空港があり，病院まで約10分です。自治医科大学卒業生が病院長で，同大学卒業生が多く在籍しています（自治医科大学義務年限内医師含む）。しかしながら近年一般内科医・総合診療医・消化器内科医の不足に直面しており，新たに当院で仕事をしてくださる医師を求めています。内科以外をされていた先生でも，総合診療医として歓迎します。また，乳腺外科専門医がソロで年間約60例の手術を行い，また指導施設でもありますので，後期研修以降に術者として修練を積めます。この紀南地域の医療を共に支えていってくださる情熱あふれる医師を募集しています。（文責 自治医科大学29期 竹井 陽）

<https://www.hamayu-hp.or.jp/>

受付 2024. 7. 22

岡山県

岡山市久米南町組合立 国民健康保険福渡病院



- 内科・外科・整形外科 若干名

診療科目：内科：糖尿病，内分泌，血液，循環器，呼吸器，消化器，内視鏡，腎臓，透析 など
整形外科，リハビリテーション科，眼科，皮膚科，精神科

病床数：52床

職員数：65名（うち常勤医師2名，非常勤医師3.2名）

所在地：〒709-3111 岡山県岡山市北区建部町福渡1000

連絡先：事務局 事務長 野田

TEL 086-722-0525 FAX 086-722-0038

E-mail fukuhos8@po10.oninet.ne.jp

特記事項：福渡病院は岡山県のほぼ中央部の，岡山市北区建部町地域と久米南町の人口約9,300人の地域にあります。この地域にはほかに入院施設が無く，地域医療を支える最前線の自治体病院です。外来診療（一般，専門），透析，入院診療，訪問診療，可能な範囲の救急医療等を行い，地域を愛する病院として頑張っています。副院長，将来の院長候補となり，医療の谷間に灯をともしていく仲間を求めています。

<https://www.fukuwatari-hp.jp/>

受付 2023.11.15

徳島県

国民健康保険勝浦病院



- 内科・外科・整形外科 各1名

診療科目：内科，外科，整形外科，小児科，リハビリテーション科

病床数：50床

職員数：70名（うち常勤医師4名，非常勤医師9名）

所在地：〒771-4306 徳島県勝浦郡勝浦町大字棚野字鴻畑13-2

連絡先：事務局長 笠木

TEL 0885-42-2555 FAX 0885-42-3343

E-mail byouin@town.katsuura.i-tokushima.jp

特記事項：勝浦町は徳島県の南東部に位置し，徳島市から南西約20kmと通勤可能な距離にある美しい風景と緑豊かな自然に恵まれた気候温暖なまちです。

当院は，徳島県中心部の高度医療機関とへき地を結ぶへき地医療拠点病院として位置づけられており，地域の医療ニーズに応えるため急性期・回復期・慢性期の医療を行っておりますが，医師不足が深刻な問題となっております。地域医療に興味のある方はぜひご連絡お待ちしております。

<https://www.town.katsuura.lg.jp/hospital/tiikiroyou.html>

受付 2024.10.3



長崎県

長崎県内離島・ へき地の公的医療機関



- 内科，外科，整形外科ほか

※マッチング成立状況に応じて随時変動します。

連絡先：ながさき地域医療人材支援センター 事務局 山下

TEL 095-819-7346 FAX 095-819-7379

E-mail info@ncmsc.jp

特記事項：長崎県の離島・へき地公的医療機関に勤務していただける医師を募集しています！

長崎県は，美しい自然環境に恵まれ観光資源も豊富ですが，地理的条件等により離島・へき地の医療に携わる常勤医師の不足が課題です。

次のステージとして関心をお持ちでしたら，ぜひ現地見学にお越しください。経費は当センターで負担し，専任スタッフが案内して医療機関とのパイプ役を務めます。お気軽にお問い合わせください。

※個別の募集医療機関はコチラ→<https://ncmsc.jp/recruit.html>

受付 2024.12.23

熊本県

上天草市立上天草総合病院



●内科・外科・整形外科 若干名

診療科目：内科，精神科，代謝内科，呼吸器内科，消化器内科，循環器内科，アレルギー科，小児科，外科，整形外科，泌尿器科，肛門外科，産婦人科，眼科，耳鼻いんこう科，リハビリテーション科，放射線科，麻酔科，消化器外科，皮膚科，神経内科，腎臓内科，歯科，歯科口腔外科

病床数：195床

職員数：360名（うち常勤医師14名）

所在地：〒866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

連絡先：事務長 山川

TEL 0969-62-1122 FAX 0969-62-1546

E-mail y-yamakawa@cityhosp-kamiamakusa.jp

特記事項：上天草市は、熊本県の西部、有明海と八代海が接する天草地域の玄関口に位置し、ほぼ全域が雲仙天草国立公園に含まれている自然豊かな地域です。

当院は、「信頼される地域医療」を基本理念としており、看護学校、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター等を併設し、上天草地域の地域包括ケアの中心的な役割を担っています。

現在、地域の医療ニーズに応えるため、急性期、回復期、慢性期の医療を行っています。医療を担ってくださる医師が不足している状況です。ご興味のある方はぜひご連絡、また見学にいらしていただければと思います。

何卒よろしくお願ひします。

<https://www.cityhosp-kamiamakusa.jp>

受付 2024.2.1

鹿児島県

鹿児島県立北薩病院



●総合診療科・内科 若干名
（常勤・非常勤相談）

診療科目：内科，呼吸器内科，循環器内科，脳神経内科，小児科など

病床数：50床

職員数：101名（うち常勤医師10名，非常勤医師11名）

所在地：〒895-2526 鹿児島県伊佐市大口宮人502-4

連絡先：事務長 宇都

TEL 0995-22-8511 FAX 0995-22-6783

E-mail uto_rika@pref.kagoshima.lg.jp

特記事項：北薩病院では、新型コロナウイルス感染症等の新興感染症も含めた感染症に対する医療、救急医療、急性期疾患に対する良質な医療、専門医療、小児医療を提供し、災害医療にも対応できるよう医療体制の整備に努めています。地域医療に情熱を持った方をお待ちしています。

<http://hospital.pref.kagoshima.jp/hokusatsu/>



受付 2024.7.25

熊本県

球磨郡公立多良木病院企業団



●内科（総合診療科）、訪問診療、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、健診 若干名

診療科目：内科総合診療科，呼吸器科，消化器科，循環器科，小児科，外科，整形外科，脳神経外科，心臓血管外科，皮膚科，泌尿器科，産婦人科，眼科，耳鼻咽喉科，リハビリテーション科，歯科

病床数：183床

職員数：416名（うち常勤医師23名，非常勤医師6名）

所在地：〒868-0598 熊本県球磨郡多良木町大字多良木4210

連絡先：総務課 係長 増田

TEL 0966-42-2560 FAX 0966-42-6788

E-mail jinji@taragihp.jp

特記事項：球磨郡公立多良木病院は、熊本県南部の九州山地に囲まれた球磨盆地にあり、近くには日本三大急流の1つである球磨川が流れ、自然豊かなところに位置します。

当院は地域完結型医療を実践するへき地医療拠点病院として、附属施設の総合健診センター、介護老人保健施設、地域包括支援センター、在宅医療センター等を有しており、包括的な医療福祉提供の要として機能しています。また、へき地診療所2カ所等へ定期的に医師派遣をしており、へき地医療にも寄与しています。

「地域医療・へき地医療に貢献してみたいと思われる方」「地域密着型の医療をやりたい方」「熊本県内で条件の良いところを探している方」「自然を体感したい方」「仕事だけでなく、ゆとりを持った生活をしたい方」など、このような医師の方、ぜひ当院にて働いてみませんか。

<https://www.taragihp.jp>

受付 2024.3.5

鹿児島県

薩摩川内市下甕手打診療所



●内科もしくは外科（総合診療医歓迎） 1名

診療科目：内科，外科，小児科

病床数：19床

職員数：36名（うち常勤医師数2名）

所在地：〒896-1601 鹿児島県薩摩川内市下甕手打956

連絡先：薩摩川内市役所 保健福祉部 市民健康課 久木元

TEL 0996-22-8848 FAX 0996-22-8038

E-mail iryo@city.satsumasendai.lg.jp

特記事項：薩摩川内市下甕手打診療所では、令和8年4月から働いていただける医師を募集しています。

本市の西方、東シナ海に浮かぶ甕島(こしきしま)。ここは、奇岩が連なる断崖絶壁、8000万年前の地層から発見された恐竜化石、ユネスコ無形文化遺産「トンドン」など、自然と歴史が息づく「時空を超えた島」です。

薩摩川内市手打診療所は、「Dr.コトー診療所」のモデルとなった診療所でもあり、下甕島における地域医療の拠点施設として地域包括医療を推進し、「島民の医療に対する不安」の解消に努めています。

そんな甕島にある診療所では、地域医療を支える仲間を募集しています。

URL:<https://www.city.satsumasendai.lg.jp/>

受付 2025.10.30

北海道

公衆衛生医師募集

募集数: 公衆衛生医師 若干名
勤務先: 道立保健所 (26カ所), 本庁
連絡先: 北海道保健福祉部総務課 人事係 浅野
 〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目
 TEL 011-204-5243 FAX 011-232-8368
 E-mail hofuku.somu2@pref.hokkaido.lg.jp

PR事項: 北海道では、道立保健所や本庁に勤務する公衆衛生医師を募集しています。
 保健所では、市町村や医療機関などと連携し、食品衛生や感染症等の広域的業務、医事・薬事衛生や精神・難病対策など、道民の健康を支える専門的業務・危機管理対策に携わります。また、本庁では、保健・医療・福祉に関する計画策定や施策立案に携わります。
 採用時は、比較的規模の大きな保健所で所長のもと必要な知識・経験を培い、数年後には比較的規模の小さな保健所で所長として勤務します。また、本庁で勤務することもあります。専門分野は問いません。行政機関での勤務経験も不要です。困ったときには、全道で30名を超える公衆衛生医師の先輩・仲間に相談することができます。
 北海道には、雄大な自然やおいしい食、アイヌ文化をはじめとする歴史・文化、多彩な魅力に満ちた179の市町村があり、勤務するそれぞれの地域で充実した生活を送ることができます。
 「WEB相談会」を随時開催しています。保健所の見学もできますので、お気軽にお問い合わせください。
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/139782.html>



大阪府

健康医療部 行政医師募集

募集数: 行政医師 若干名
勤務先: 大阪府庁, 大阪府保健所, 大阪府こころの健康総合センター (精神保健福祉センター) など
連絡先: 大阪府庁 健康医療部 健康医療総務課 人事グループ 池田
 〒540-8570 大阪府中央区大手前2-1-22
 TEL 06-6944-7257 FAX 06-6944-6263
 E-mail kenisomu-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp

PR事項: 公衆衛生の分野には、感染症対策だけではなく、医療計画の策定、生活習慣病対策などの健康づくり、母子保健や精神保健、難病対策など、取り組むべきさまざまな課題が山積しています。
 私たちが働く府庁や保健所などの行政機関は、医療機関や学術機関では経験できない、臨床とは一味違う地域を動かす醍醐味を感じることができる職場です。府民の健康というのちを守るという大きな責任感とやりがいのある行政というフィールドで、私たちと一緒にあなたも仕事をしてみませんか。
 大阪府では、大阪府庁や保健所などに勤務する行政医師を募集しています。専門分野や行政機関での勤務経験などは問いません。業務内容や勤務場所、人材育成の体制や人事制度など、お気軽にお問い合わせください。また、府庁や保健所への訪問、見学なども随時受け付けています。詳しくは府の行政医師職員採用ガイドのページをご覧ください。
<https://www.pref.osaka.lg.jp/chikikansen/kousyueiseishi/index.html>



千葉県

公衆衛生医師募集

募集数: 公衆衛生医師 若干名
勤務先: 県立保健所 (13カ所), 本庁
連絡先: 健康福祉部健康福祉政策課人事班 後藤
 〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1
 TEL 043-223-2605 FAX 043-222-9023
 E-mail kfj@mz.pref.chiba.lg.jp

PR事項: 千葉県では県内13カ所の保健所 (健康福祉センター) や県庁に勤務し、公衆衛生の第一線に立って活躍いただく、公衆衛生医師を募集しています。
 保健所では主に、他職種の職員と連携しながら、健康危機管理体制の確保、疾病対策、食品・環境衛生、精神保健対策、医療安全の確保、健康づくりの推進、地域医療調整、地域保健、福祉等の業務に、携わっていただきます。
 新型コロナウイルス感染症対策におけるさまざまな取り組みや経験を踏まえ、地域医療における医療機能の強化、連携等を行っていく公衆衛生医師の重要性が、改めて認識されたところです。
 保健所等での勤務経験の有無や専門分野は問いません。現役の公衆衛生医師による業務説明や職場見学も随時受け付けております。
 ぜひお気軽にお問い合わせください。ご応募お待ちしております。
 ※募集の詳細はホームページをご覧ください。



奈良県

福祉医療部総務課 公衆衛生医師募集

募集数: 公衆衛生医師 若干名
勤務先: 奈良県内保健所 (3カ所), 奈良県精神保健福祉センター, 奈良県本庁
連絡先: 奈良県福祉医療部医療政策局 本木
 〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30
 TEL 0742-22-1101(内線3112) FAX 0742-22-2725
 E-mail motoki-takanori@office.pref.nara.lg.jp

PR事項: 奈良県には、利便性の高い鉄道交通網、充実した子育て支援策、有名な社寺、歴史ある街並み、豊かな自然があります。ご家族も、安全・安心・快適に暮らせる地域です。最も遠い勤務地間でも電車で1時間30分程度で移動できるため、転居があっても転居の必要がありません。
 公衆衛生に関心を持っている方をお待ちしています。保健所等の体験勤務もご案内していますので、気軽にお問い合わせください。臨床専門医の維持をしながら、社会医学系専門医などの公衆衛生医としてのキャリアアップをされている先輩もいます。
 本庁では、医療政策、疾病対策・健康づくり、健康危機管理体制などの企画・調整・立案・実施に従事します。保健所では、感染症、精神保健、難病、小児慢性特定疾患、医療監視、健康危機管理の企画・調整・立案・実施に従事します。
<https://www.pref.nara.jp/67367.htm>



徳島県

公衆衛生医師募集

募集数: 公衆衛生医師 4名程度

勤務先: 県内6保健所, 精神保健福祉センター, 万代庁舎(本庁)

連絡先: 徳島県保健福祉部保健福祉政策 総務・援護担当 野本

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1-1

TEL 088-621-2172

E-mail hokenfukushiseisakuka@pref.tokushima.lg.jp

PR事項: 徳島を元気にするために働きたい, 徳島の魅力を発信したいという熱意のある医師を待っています。徳島にゆかりのある方だけでなく, 県外の方も大歓迎です。卒後年数が短くフレッシュな方も, 臨床・研究経験が豊富な方も, 持ち味が生かせる分野です。共に地域の健康を追い求め, 徳島を元気にしましょう!

現役の公衆衛生医師からお話を聞くことができるWEB説明会も随時開催していますので, お気軽にご連絡ください。

【公衆衛生医師】

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/saiyo/7304010/>

【公衆衛生医師(精神)】

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/saiyo/7304012/>

大分県

福祉保健部 公衆衛生医師募集

募集数: 公衆衛生医師 若干名

勤務先: 大分県福祉保健部の本庁(大分市)または保健所(大分県内各地)等

連絡先: 大分県福祉保健部福祉保健企画課総務班 徳丸

〒870-8501 大分県大分市大手町3-1-1

TEL 097-506-2614 FAX 097-506-1732

E-mail a12000@pref.oita.lg.jp

PR事項: 日本一のおんせん県おおいたは, 健康寿命も日本一です! 令和3年に公表された大分県の健康寿命は, 男性が見事「第1位」を達成し, 女性も「第4位」と大躍進しました。そのカギとなったのは公衆衛生に関わるさまざまな職種・各地域の関係者が連携した取り組みです。

公衆衛生医師は, そのような取り組みの推進にあたり, 地域全体の健康課題解決のための仕組みやルールを作ることができる, 達成感ややりがいを感じられる仕事です。

日本一の湧出量と源泉数を誇る温泉をはじめ, 「関アジ・関サバ」や「おおいた和牛」などの絶品グルメ, 九州の屋根とも呼ばれるくじゅう連山や温暖な気候の瀬戸内海でのアウトドアレジャーなど, 魅力いっぱいの大分県でやりがいを持って働くことで, あなた自身の健康寿命も延ばしませんか。

専門分野や行政での勤務経験は問いません。健やかで心豊かに暮らせる大分県をつくるために働きたい方, ご応募をお待ちしています!

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/12000/kousyueiseishiboshu.html>

福岡県

保健医療介護部 公衆衛生医師募集

募集数: 公衆衛生医師 6名

勤務先: 福岡県庁, 保健福祉(環境)事務所(9カ所)等

連絡先: 福岡県保健医療介護部保健医療介護総務課 総務係 青木

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL 092-643-3237 FAX 092-643-3241

E-mail hosomu@pref.fukuoka.lg.jp

PR事項: 福岡県では, 県内9カ所の保健福祉環境事務所等(保健所)や県庁で勤務する公衆衛生医師を募集しています。

県民一人ひとりの健康を守るのが臨床医であるのに対し, 地域全体の健康を守るのが公衆衛生医師です。新型コロナ感染症の発生により, 都道府県や保健所の役割が大きく注目され,

また, 公衆衛生の重要性が改めて認識されたところで, 具体的な業務としては, ①がん, 生活習慣病の予防などの健康づくり, ②自殺やうつ病, アルコール依存症などこころの健康づくり, ③感染症や食中毒の予防, 薬物乱用などによる健康被害の防止, ④小児, 周産期, 救急医療などの医療提供体制の整備や在宅医療の推進などがあります。

これらの施策の企画立案や事業の推進を通じて, 社会のために貢献したいという熱意にあふれる皆さんをお待ちしています。専門分野や行政機関での勤務経験は問いません。先輩医師や他職種の方々と相談しながら業務を進めることができます。福岡県では, 10日以上連続休暇の年2回以上の取得を促進するなど, 職員のワークライフバランスの実現にも積極的に取り組んでおり, 子育て中の医師も活躍しております。県庁や各保健福祉環境事務所等(保健所)の見学を随時受け付けておりますので, まずはお気軽にお問い合わせください。

熊本県

健康福祉部 公衆衛生医師募集

募集数: 公衆衛生医師 若干名

勤務先: 本庁, 保健所, 精神保健福祉センター, 児童相談所等

連絡先: 熊本県健康福祉部健康福祉政策課 高岡

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6-18-1

TEL 096-333-2193 FAX 096-384-9870

E-mail kenkoufukushi@pref.kumamoto.lg.jp

PR事項: 熊本県では, 県民の生命や健康を守るために県庁や保健所に勤務していただく公衆衛生医師を募集しています。公衆衛生医師の業務は, がん・糖尿病などの生活習慣病の予防はもちろんですが, 医療提供体制の確保, 感染症や災害への対応など多岐にわたります。近年は超高齢社会における地域包括ケアシステムの構築が重要な課題となっています。

他にも, 県の精神保健福祉センターでは精神保健福祉に関する知識の普及, 調査研究, 相談や指導を行うための医師を, 児童相談所では児童の健康および心身の発達に関して助言や指導を行う医師を求めています。

専門分野や経験年数は問いません。これまで培った医師としてのキャリアを行政で活かしてみませんか。ご興味のある方, ぜひお問合せください。保健所見学等も歓迎いたします。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/27/115635.html>



鹿児島県

保健福祉部 公衆衛生医師募集

募集数: 公衆衛生医師 8名

勤務先: 保健所 (県内13カ所), 県庁

連絡先: 鹿児島県保健福祉部保健医療福祉課 主幹 町田

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL 099-286-2656 FAX 099-286-5550

E-mail hswsohmu@pref.kagoshima.lg.jp

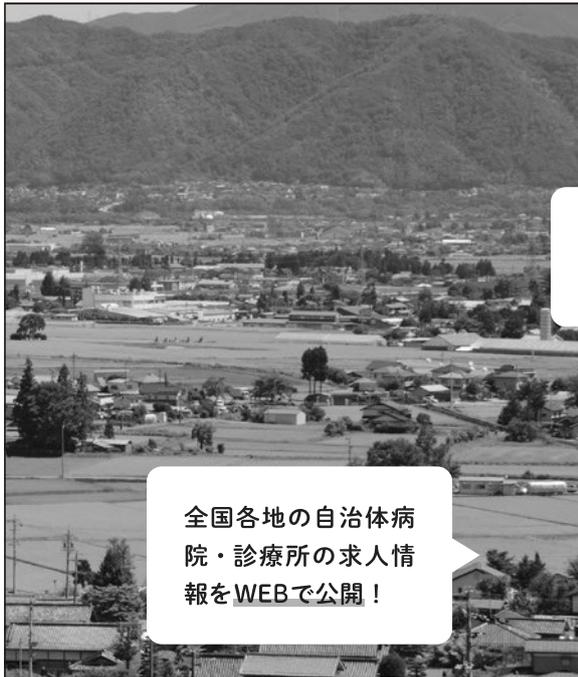
PR事項: 鹿児島県では、県内13カ所の保健所等で勤務いただく公衆衛生医師を募集しています。

本県は、温暖な気候、屋久島、奄美大島・徳之島等世界自然遺産を有する豊かな自然、豊富な温泉資源、安心・安全な食等が魅力であり、マリンスポーツ等の健康づくりにも適し、ワークライフバランスを実現できます。

採用は、ご希望に応じ随時行っており、業務内容の紹介や保健所での見学も受け付けています。詳しくは、県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.kagoshima.jp/ae01/kenko-fukushi/doctorbank/boshuu/hokendoc2.html>





登録からサービスの
利用まで無料！

全国各地の自治体病院・診療所の求人情報をWEBで公開！

公益社団法人として認可を受けた団体の提供する安心と信頼のサービス



自治体病院・診療所

医師募集



地域医療を支えていただく医師の皆様のご登録をお待ちしております

ご登録は
こちら



<https://jmha-center.jp/entry/>

自治体病院・診療所

検索



自治体病院・診療所医師求人求職支援センター

公益社団法人 全国自治体病院協議会

〒102-8556 東京都千代田区平河町2丁目7番5号 砂防会館 本館7階

TEL : 03-3261-8558 FAX : 03-3261-1845

E-mail : center@jmha.or.jp

厚生労働大臣 有料職業紹介事業
許可・届出受理番号：13-ユ-304945
公益社団法人全国自治体病院協議会

各種お知らせ・報告・求人要領

2015年9月改訂

- ①各種お知らせ・報告・求人の締め切りは毎月10日です。受け付けた情報の掲載可否は、編集委員会にて決定いたします。
- ②継続して掲載を希望する場合も、原則として毎号締切日までに掲載希望の旨をご連絡ください。
「求人病院紹介」も継続を希望する場合は1ヵ月ごとに申し込みが必要です。掲載期間は原則として6ヵ月までです。掲載を中止する場合は速やかにご連絡ください。
- ③各コーナーの執筆要領に従って原稿を作成してください。
- ④組み上がりの原稿(ゲラ)校閲が必要な場合は、その旨をお書き添えください。
- ⑤原稿はメールまたは郵送、ファックスにてお送りください。郵送、ファックスの場合も、文字データ、写真データはできるかぎり記憶媒体(CD-ROM, DVDなど)でお送りください。

支部会だより

下記の項目に従って原稿を作成してください。

1. 会の名称(年度, 第〇回)
2. 日 時
3. 場 所
4. 出席者
5. 議事要旨: 議題と議事要旨を簡単にまとめる。
6. 結論: 議事要旨に含まれない決定事項など
7. その他: 講演内容などで特記すべきことがあれば簡略に、文末に必ず文責者(担当者)名を記載ください。
文字量目安: 約950字で1/2ページ分, 1,900字で1ページ分となります。

開催案内等

下記の項目に従って原稿を作成してください。

1. 会の名称
2. 主催および共催団体名
3. 会の形態: 研修会・研究会・講習会・講演会・シンポジウム等
4. 趣 旨
5. 日時・場所
6. 内容: テーマおよび簡単な内容, ホームページ等があればご紹介ください。
7. 参加資格: 定員がある場合も明記してください。

8. 受講料
9. 申し込み方法: 申し込み手続きに必要な書類, 申し込み方法(通信手段)
10. 申し込み期間: 申し込み締切日は必ず明記してください。
11. 連絡先: 担当部署, 担当者氏名(肩書き), 住所, TEL, FAX, E-mailを記載してください。
文字量目安: 約900字で1/2ページ分, 1,900字で1ページ分となります。

スタッフ募集

下記の項目に従って原稿を作成してください。

1. 科名, 教室名
2. 科・教室紹介: 約200字を目安としてください。在籍卒業生を記載する場合は、苗字だけとし卒年度(〇年卒: 西暦)で統一願います。
3. 連絡先: 氏名(所属・肩書き), TEL, FAX, E-mailを記載してください。

求人病院紹介

地域医療にかかわる公的医療機関の求人紹介です。(都市部は除く)

以下の項目に沿って原稿を作成の上, お送りください。

1. 病院名(正式名称)
2. 所在地
3. 診療科目
4. 病床数
5. 職員数(うち常勤医師数, 非常勤医師数)
6. 募集科目・人数
7. 連絡先: 氏名(所属・役職), TEL, FAX, E-mail
8. PR, 特記事項(ホームページURLなど)
9. 写真データを1点掲載することができます。

原稿送付・問い合わせ先

〒102-0093

東京都千代田区平河町 2-6-3 都道府県会館 15 階

公益社団法人地域医療振興協会

「月刊地域医学」編集委員会事務局

担当: 下平

TEL 03-5212-9152 FAX 03-5211-0515

E-mail chiiki-igaku@jadecom.jp

1. 編集方針

『月刊地域医学』は、地域医療・プライマリ・ケア・総合診療に携わる全ての医療従事者の教育、研究、実践、政策を共有し、地域医療の発展に寄与することを目的とする。

Webジャーナルを隔月で発行し、投稿論文の早期公開を重視する。

2. 投稿者および投稿条件

地域医療に関わる全ての者の投稿を受け付ける。会員・非会員を問わない。Corresponding Author（責任著者）は1名とし、全ての共著者の同意を得て投稿すること。国内外の他雑誌等に未発表のもの、あるいは現在投稿中でないものに限る。

3. 倫理的配慮

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。また臨床研究においては、所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ること。編集委員会からその承認番号の記載を求められた際には応じること。なお、倫理委員会より承認の非該当となった場合には、その旨を記載する。症例報告については、個人が特定されない形での報告とし、倫理委員会の承認を必須としない。

4. 生成AIの使用について

投稿者が執筆過程で生成型人工知能（AI）およびAI支援技術を使用する場合、これらの技術は可読性と言語の改善にのみ使用すべきである。技術適用には人間の監督と管理が必要であり、AIは誤り・不完全・偏った内容でありながら権威的に聞こえる出力を生成し得るため、著者は結果を慎重に確認・編集しなければならない。AIおよびAI支援技術は、著者または共著者として記載したり、著者として引用したりしてはならない。著作者としての地位は、人間にのみ帰属し遂行可能な責任と任務を意味する。著者は原稿において、執筆過程でのAIおよびAI支援技術の使用を、著作物に開示声明として記載する。著作物の内容に対する最終的な責任と説明責任は著者に帰属することに留意すること。

例：本論文の執筆過程において文章の可読性と言語の改善に生成AI（Chat GPT 5.1）を用いた。

5. 利益相反（COI）開示

日本医学会COI管理ガイドラインに従って、開示すべ

きCOI状態がある場合には、編集委員会に対して開示し論文の最後に以下の例を参考に記載する。

例：〈COI開示〉 著者1：A製薬、B製薬、C製薬
著者2：A製薬
著者3：C製薬

6. 投稿の分類

・ **原著（original article）**
学術論文であり、著者のオリジナルである内容を著したものの。

・ **症例報告（case report）**
症例についてその詳細を著した論文。あるいはケースシリーズ。

・ **総説（review article）**
重要なテーマについて、現状や領域の課題を解説し、展望を論じたり、提言を行う。

・ **特別報告（special report）**
編集委員会が特定テーマについて依頼する。シンポジウム報告、座談会記録など含む。

・ **短報（brief report）**
小規模研究・調査・実践報告・教育プログラムの初期成果など簡潔に報告する。活動報告、実践研究を含む。図表を中心とした報告も可とする。

・ **Video Communication**
動画を用いた、診察、手技、画像（エコー、内視鏡、CT連続画像等）による、教育的または新規性の高い報告。1動画あたり5分以内、250MB以内とする。形式はMP4あるいはMOVなど。

* 論文の内容は地域医療関連領域の原著、症例報告、総説、特別報告、短報、Video Communicationなどとする。総説、特別報告は原則として編集委員会から依頼する。なお、原著として投稿され、査読の結果、原著の要件を満たさないと判断された場合、編集委員会より区分変更を依頼し、「探求（exploratory report）」として掲載する可能性がある（分類表）。

7. 論文の採否

投稿論文の採否は、原則として査読者と編集委員による査読および、本編集委員会の審査を経て決定する。

8. 原稿規定

1) 原稿の構成

原稿は、表題、著者名、所属、抄録、英文抄録、キーワード（日本語・英語）、本文、謝辞、生成AI使用(有の場合)、利益相反（COI）開示、文献、図表、図表説明の順とする。原著論文では構造化抄録（目的・方法・結

NO	1	2	3	4	5	6
種類	原著 (original article)	症例報告 (case report)	総説 (review article)	特別報告 (special report)	短報 (brief report)	Video Communication
内容	学術論文であり、著者のオリジナルである内容を著したもの。	症例についてその詳細を著した論文。	重要なテーマについて、現状や領域の課題を解説し、展望を論じたり、提言を行う。	編集委員会が特定テーマについて依頼する、シンポジウム報告、座談会記録など含む。	小規模研究・調査・実践報告・教育プログラムの初期成果など簡潔に報告する。図表を中心とした報告も可とする。	動画を用いた、診察、手技、画像（エコー、内視鏡、CT連続画像等）による、教育的または新規性の高い報告。
査読	有	有	有	有	有	有
投稿受付	有	有	有	無	有	有
原稿依頼	無	無	有	有	無	無
原稿の総文字数 (図表・図表の説明・文献を含む)	8,000字以内(JP) or 3,000 words(EN)	3,000字以内(JP) or 1,500 words(EN)	9,000字以内(JP) or 3,500 words(EN)	制限なし	3,000字以内(JP) or 1,500 words(EN)	800字以内 (JP) or 600 words(EN)
著者数	20	10	10	10	10	10
抄録	400字以内	400字以内	400字以内	400字以内	400字以内	400字以内
英文抄録	250 words maximum, structured	250 words maximum, unstructured	250 words maximum, structured or unstructured.	250 words maximum, unstructured	250 words maximum, structured or unstructured.	250 words maximum, structured or unstructured.
キーワード (日英併記)	3-5語	3-5語	3-5語	3-5語	3-5語	3-5語
図表 380字/1点 (8X8cm)で換算	図と表合わせて 6つまで	図と表合わせて 4つまで	図と表合わせて 6つまで	制限なし	図と表合わせて 4つまで	動画は1本5分まで 最大で2本で10分まで 動画の他に1つまで
文献数	40編以内	10編以内	150編以内	10編以内	10編以内	10編以内
その他						動画の初めにタイトル、次にCOIを出してからMainの構成に進むこと

果・結論)を必須とする。

2) 原稿の表記

日本語で表記する場合の句読点は「， 全角カンマ」「. 全角ピリオド」とする。薬品の記載は原則として商品名ではなく一般名とする。日本語化していない外国語、人名、地名、薬品名は原語のまま用いる。略語を用いる場合はその初出の箇所で内容を明記する。年号は西暦とする。〇〇大学〇期卒や〇〇県〇期卒等の表記は避け〇〇大学〇〇〇〇年(西暦)卒業(〇〇県出身*)とする。(※必要な場合のみ)

3) 必要記載事項

原稿は、投稿の分類とタイトル、図表点数、著者名と所属(著者が複数の場合、それぞれの所属が分かるように記載する)、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、Eメールアドレス)を記載する。全共著者が投稿に同意し内容に責任を持つことを明記し、全共著者の署名を添える。

4) 図表

図表は厳選し、本文中の記載よりも図表を用いた方が明らかに理解しやすくなる場合に限り使用する。図表は本文の出現順に通し番号とタイトルをつける。写真のカラー掲載可。動画はVideo Communicationのみ受け付

ける。

5) 引用文献

他の論文等から引用する場合は、当該論文の著者と出版社の掲載許可を得ておくとともに出典を明記する。文献は、本文中に引用順に肩付き番号をつけ、本文の最後に引用順に記載する。

・雑誌の場合

著者名(3名までとし、ほかは“他”, “et al”と記す): タイトル. 雑誌名 年; 巻: 始頁-終頁. ISSN.

・書籍の場合

著者名(3名までとし、ほかは“他”, “et al”と記す): 章名, 編集者名, 書名, 地名, 出版社名, 年, 始頁-終頁.

・ウェブサイトの場合

著者名, 当該ページのタイトル(引用符付き), サイト名称(任意) 発行日(任意) URL アクセス日付(丸かっこ).

{文献表記例}

・雑誌

1) 山脇博士, 二神生爾, 坂本長逸, 他: 日本におけるFD患者に対してacotiamideが及ぼす上下部消化管症状の検討. 潰瘍 2016; 43: 121-125. ISSN 2189-7956.

2) Stanghellini V, Chan FK, Hasler WL, et al: Gastroduodenal Disorders. Gastroenterology 2016; 150: 1380-1392. ISSN 0016-5085.

・書籍

3) 高橋三郎, 大野裕 監訳: DSM-5精神疾患の診断・統計マニュアル. 東京, 医学書院, 2014.

4) Jameson LJ, Fauci AS, Kasper DL, et al: Harrison's Principles of Internal Medicine 20th edition. McGraw-Hill, 2018.

・ウェブサイト

5) Evanston Public Library Board of Trustees. "Evanston Public Library Strategic Plan, 2000-2010: A Decade of Outreach." <http://www.epl.org/library/strategic-plan-00.htm> (accessed 2005 Jun 1)

9. 原稿の保存形式と必要書類について

本文はMicrosoft Word形式で保存したファイルとそのPDFファイルの両方を送付する。画像はJPEG, PNG, TIF形式を原則とし、これらの画像等を組み込んで作成した図は、各アプリケーションソフトで保存したファイルとそのPDFファイルもつける。図については、可読性のため査読完了後出版前に高解像度のものを改めて提出依頼する場合がある。

著者名と所属、連絡先（住所、電話番号、FAX番号、Eメールアドレス）を明記した投稿連絡箋、および全共著者が投稿に同意し内容に責任を持つことを明記した著作権委譲承諾書を送付する。

10. 原稿の送付方法について

Eメールに添付、あるいは容量が大きい場合、動画などはオンラインストレージで受け付ける。送付の件名は「投稿・〇〇〇〇（著者名）」と表記する。

11. 掲載原稿の著作権と利用許諾基準

論文等の著作権（著作権法27条 翻訳権、翻案権等、28条 二次的著作物の利用に関する原著者の権利を含む）は、公益社団法人地域医療振興協会に帰属する。当該協会は、当該論文等の全部または一部を、当協会ホームページ、当協会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版（電子出版を含む）できるものとする。

12. 転載・二次的利用について

当該論文の転載・二次的利用については、「月刊地域医学」編集委員会事務局あてに申請し、編集委員会により諾否を決定する。

13. 掲載料金

掲載料金は無料とする。

14. 投稿先、問い合わせ先

初回投稿先および投稿規定等に関する問い合わせ先：

「月刊地域医学」編集委員会事務局

E-mail chiiki-igaku@jadecom.jp

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階

公益社団法人地域医療振興協会「月刊地域医学」

編集委員会事務局

TEL 03-5212-9152 FAX 03-5211-0515

15. 月刊地域医学編集室

論文受付後の制作実務を担当。投稿受付後は下記編集室より著者に、受付日、受付番号をE-mailにて連絡。投稿後2週間経過後、受付番号の連絡がない場合、審査状況や原稿要領等の問い合わせは、下記編集室あて。

(株)メディカルサイエンス社内 月刊地域医学編集室

E-mail chiiki-igaku@medcs.jp

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2丁目21-15

松濤第一ビル3階

TEL 03-5790-9831 FAX 03-5790-9645

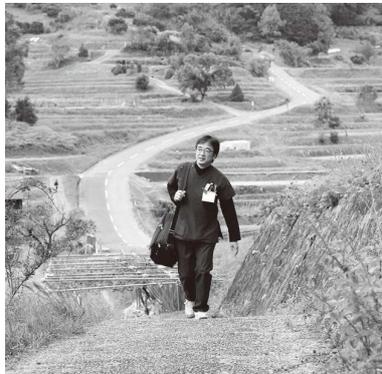
16. 施行日および改訂履歴

この投稿規定は2025年12月より施行する。改訂は編集委員会の承認を経て行い、WebジャーナルHPに掲載する。

あなたの一步で、 救われる地域がある。

医療資源は都市部に集中し、山間・離島などの地域には
日常的な診療を担う医師にも恵まれないところが
未だに数多くあるのが現状です。

地域医療振興協会には全国から多くの医師派遣の要請があり、
その支援実績は年々増えていますが
すべての地域からの要望に応えることはできません。



期間(年単位、月単位、日単位、緊急支援)や役割(総合医、専門科、当直など)、
方法(就業、定期支援、一時支援)など、地域の支援には様々なかたちがあります。

◎お問い合わせはメール・電話にてお気軽に

公益社団法人地域医療振興協会 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー7階

担当/事務局 アカデミー事務局 人事派遣課

E-mail: hekichi@jadecom.jp TEL: 03-5210-2921

医療を求める地域が今、この瞬間も医師(あなた)を待っています。

「月刊地域医学」編集委員

編集委員長	山田隆司(地域医療研究所長)
編集委員	石川雅彦(地域医療安全推進センター センター長)
	伊藤雄二(市立恵那病院 副管理者)
	大海佳子(地域看護介護部長)
	菅野 武(自治医科大学医学教育センター 医療人キャリア教育開発部門 特命教授)
	北村 聖(地域医療振興協会 顧問)
	木下順二(地域医療振興協会 常務理事)
	佐藤新平(大分市医師会立アルメイダ病院婦人科 部長)
	杉田義博(日光市民病院 管理者)
	田中 拓(川崎市立多摩病院救急災害医療センター センター長)
	中村正和(地域医療研究所 へき地医療研究センター アドバイザー)
	野村 悠(川崎市立多摩病院救急災害医療センター 副センター長)
	原田昌範(山口県立総合医療センター へき地医療支援センター長)
	廣瀬英生(県北西部地域医療センター 国保白鳥病院 病院長)
	本多英喜(横須賀市立総合医療センター 副管理者)
	宮本朋幸(横須賀市立総合医療センター 副管理者 兼 横須賀市立市民病院 副管理者)
	森 玄(練馬光が丘病院薬剤室 主任)
	守本陽一(一般社団法人 ケアと暮らしの編集社代表理事/公立八鹿病院総合診療科)

(50音順, 2025.7現在)

編集後記

本号では、「地域医療とまちづくり」をテーマに、全国各地の実践を紹介した。岩手県宮古市、女川町、明日香村、紀宝町、上勝町、和良町、佐用町・養父市—それぞれの取り組みは形こそ異なるものの、共通して貫かれているのは「医療は地域の営みと共にある」という視点である。医療提供体制のみならず、暮らし・文化・産業・関係性を含めて未来を描く姿勢は、人口減少が進む社会における希望を示している。地域の健康や生活を支えるのは医療だけではない。住民同士のつながり、行政や専門職による柔軟な支援、そして日常の小さな取り組みの積み重ねであることを、本特集の記事は示している。

2025年11月18日夕刻、大分市佐賀関において大規模火災が発生した。翌日には災害救助法が適用され、夜を徹して燃え続けた火勢は、発災から1週間を経過してもなお完全な鎮火には至っていない。強風に加え、多くの空き家を含む木造家屋の密集が被害拡大の要因とされている。まずは、被災された方々が一日も早く平穏な生活を取り戻されることを願うばかりである。旧佐賀関町唯一の病院である佐賀関病院(社会医療法人関愛会)では、発災直後から行政や佐賀関DMAT、および地域の介護事業所等と連携し、住民支援にあたっている。入院患者の受け入れや物資提供に加え、避難所である佐賀関市民センターに医師・職員が赴き、避難者の健康状態の把握や健康維持への配慮を行うなど、迅速かつきめ細かな支援が進められている。これらの対応の背景には、平時から培われてきた地域内での多職種連携や顔の見える関係性があり、それが人的被害の軽減に寄与したのではないかと考えられる。

本特集が示す地域医療とまちづくりの実践は、こうした厳しい現実直面したとしても、未来を諦めずに歩み続けるための確かな手がかりとなるだろう。災禍を乗り越え、佐賀関が再興に向けて歩を進め、地域医療と住民生活を支える持続可能なまちづくりがさらに強化されていくことを願い、本号の結びとしたい。

佐藤新平

月刊地域医学 第40巻第1号(通巻471号) 定価660円(本体 600円+税10%)

発行日/2026年1月10日

発行所/公益社団法人地域医療振興協会 地域医療研究所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階

TEL 03-5212-9152 FAX 03-5211-0515 URL <https://www.jadecom.or.jp>

制作・販売元/株式会社メディカルサイエンス社

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2丁目21-15 松濤第一ビル3階

TEL 03-5790-9831 FAX 03-5790-9645

© Japan Association for Development of Community Medicine

乱丁・落丁本は、送料弊社負担でお取替えます。

本書の内容の一部または全部を無断で複写・複製・転載することを禁じます。

Medical Science Co.,Ltd. Printed in Japan

2026年
4月から

『月刊地域医学』は 新しく生まれ変わります！

Monthly Journal of Community Medicine is Reborn!

- 1. 紙とWeb、交互に毎月発行**
Printed and online issues will continue every month.
- 2. Web版は J-STAGEで迅速に公開！（紙面版は翌月 Web公開）**
Online release on J-STAGE now happens at the same time as publication.
- 3. PubMed掲載を目指した新スタイルへ**
Moving toward PubMed indexing with a standardized, international format.
- 4. 地域医療に関する様々な話題を歓迎します：**
原著論文、症例報告、短報、Video communication (新設)
All community health-related content is welcome: Original Articles, Case Reports, Brief Reports, Video Communications
Printed and online issues will continue every month.
- 5. 投稿料・掲載料は無料**
No submission or publication fees. Original reports are strongly encouraged.
- 6. DOI付与で、引用可能な正式な業績に**
All published articles receive a DOI, making them fully citable.
- 7. 英文抄録・キーワードも AIでブラッシュアップOK**
You may use generative AI or translation tools to refine English abstracts and keywords
(Disclosure of AI use required at manuscript end).

AI時代の執筆をサポートします！

Responsible Use of Generative AI Encouraged

英文タイトル・抄録・キーワードの作成にAIを活用できます。生成AIや翻訳ツールによる英文のブラッシュアップは歓迎します。ただし、本文全体をAIで生成することは不可としています。著者が最終確認・承認を行うことで、人間の責任と透明性を確保します。この方針はNatureやElsevierなどの国際的出版社と同様です。

Use AI wisely—enhance your abstracts and keywords! Generative AI and translation tools may be used to refine English titles, abstracts, and keywords. Authors remain responsible for the final content and must disclose AI use at the end of the manuscript. (Main text generation by AI is not allowed.)

あなたの地域医療の実践を全国、世界へ発信しましょう！



9784911514061



1923047006004

ISBN978-4-911514-06-1
C3047 ¥600E

定価660円（本体600円＋税10%）